

公共事業環境配慮書

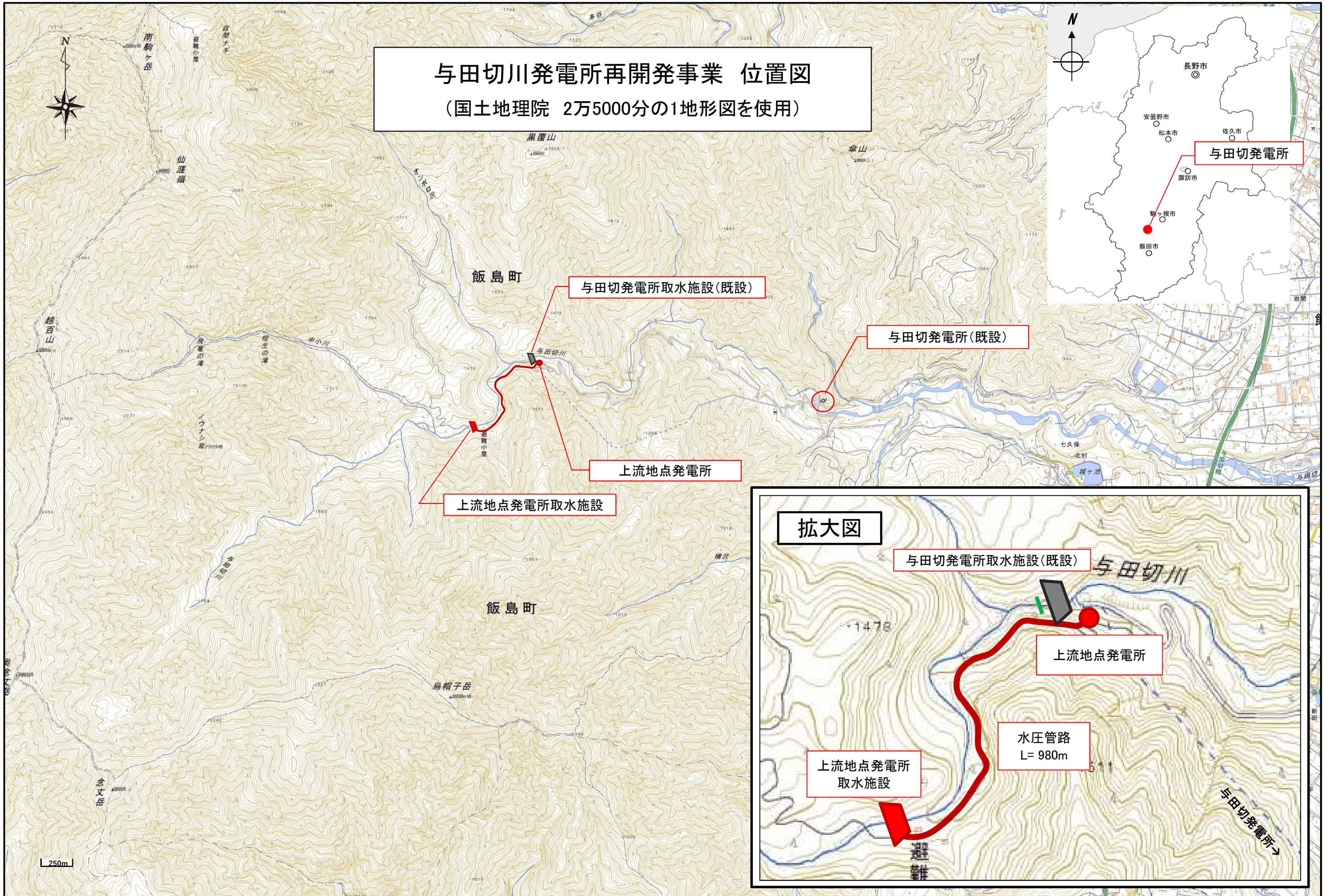
事業名称					
事業名	与田切川発電所再開発事業				
整理番号	R2-9				
事業の種類	水力発電所の建設				
市町村名	飯島町				
箇所名	七久保				
事業年度	令和元～5年度				
事業概要					
目的	与田切発電所の設備老朽化による設備更新及び与田切川上流地点への新規発電所の建設				
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	与田切発電所:発電出力6,300kW 発電所構内の機械設備更新及び取水施設の改修 与田切川上流地点発電所:発電出力1,550kW 取水施設及び発電所、取水施設から発電所までの導水管(管路延長L=980m)の新設				
関連する事業計画	特になし				
その他特記事項	特になし				
関係法令等の規制					
自然環境保全地域等の指定状況	<table border="1"> <tr> <td>国定公園</td> <td>特別地域</td> </tr> </table>	国定公園	特別地域		
国定公園	特別地域				
土地利用規制の状況	<table border="1"> <tr> <td>河川法の河川区域または河川保全区域</td> <td>森林法の保安林等</td> </tr> <tr> <td>鳥獣保護法の鳥獣保護区</td> <td></td> </tr> </table>	河川法の河川区域または河川保全区域	森林法の保安林等	鳥獣保護法の鳥獣保護区	
河川法の河川区域または河川保全区域	森林法の保安林等				
鳥獣保護法の鳥獣保護区					
その他	なし				
社会的要素					
留意すべき地域の概況					
交通の現況	事業区域内に林道が位置している。				
土地利用の現況	山地・丘陵である				
生活関連施設の現況	周辺に住居等はない				
その他	特になし				
自然的環境要素					
環境配慮の方針					
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし			
	【大気汚染の防止】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。 ・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。 				
	【騒音、振動の防止】				
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。 ・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。 ・低騒音型の建設機械を採用する。 					
水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼がある			
	【水質汚濁の防止】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。 ・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。 				
	【水循環の保全】				
<ul style="list-style-type: none"> ・掘削や地下水構造物の設置等により地下水の流動を阻害しないように努める。 ・河川においては下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。 					
地形・地質	留意すべき地域の概況	特になし			
	【改変面積の最小化】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。 ・段階的に工事を行い、広範囲な裸地の出現を防止する。 ・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。 ・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。 				

自然的環境要素		環境配慮の方針		
野生動植物	留意すべき地域の概況	南アルプス国定公園の第3種特別地域と普通地域の境界に位置している。希少種であるクマタカ、ハチクマが生息している可能性がある。ヤマトイワナ(長野県RL準絶滅危惧)、カモメラン(長野県版RL絶滅危惧 I B類)、アオホオズキ(長野県版RL絶滅危惧A類)の生息地・生育地周辺である。		
		【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】 ・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。		
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】 ・動物の移動経路の分断を出来るだけ避ける又は新たな移動経路を確保する。 ・河川工事にあたっては、濁水が河川に流れないように配慮する。 ・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を近隣の個体群と遺伝的交流が可能な生育適地へ移植・播種する又は生育地を創出し移植する。 ・重要な植物の移植・播種を行った場合は、定着や繁殖が確認されるまでモニタリングし、その結果を報告する。 ・与田切川の支川との合流点付近でイワナが産卵可能な場所を確保する。			
	【動物の繁殖期における影響の低減】 ・重要な動物等の繁殖期の工事を出来るだけ避ける。			
	【地域独自の生物多様性の保全】 ・車両及び資材若しくは作業着・靴を適切に洗浄し外来種の持ち込みを防止する。 ・工事後の速やかな在来種による緑化等に努める。 ・表土を植生用客土として活用し、近隣の自生個体群の遺伝的攪乱がおきないように、遺伝的地域性に配慮して地域由来の個体を用いて植栽・緑化を行う。			
	景観	留意すべき地域の概況	南アルプス国定公園の特別地域に位置し、山地景観を形成している	
			【すぐれた景観の保全】 ・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。 ・主要な景観資源の改変を出来るだけ避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。	
		【良好な景観の育成】 ・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。 ・樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。		
		【自然とのふれあいの場への立地の回避】 ・不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の改変を出来るだけ避ける。		
	自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	事業区域近傍に与田切溪谷、シオジ平自然公園がある。	
			【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】 ・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。 ・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】 ・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。		
【資源の有効利用】 ・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。 ・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。 ・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。				
【環境への負荷の少ない機械の利用等】 ・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 ・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 ・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。				
【エネルギーの有効利用】 ・施設の建設にあたっては温室効果ガス削減に努めた計画とする。 ・LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。 ・建築物の断熱化に努める。				
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】 ・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 ・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 ・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。			
	【エネルギーの有効利用】 ・施設の建設にあたっては温室効果ガス削減に努めた計画とする。 ・LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。 ・建築物の断熱化に努める。			

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	野生動植物	重要な植物の移植又は播種を行う場合は、近隣の個体群と遺伝的交流が可能な地点に行うよう努めてください。また、定着や繁殖が確認されるまでモニタリングを行い、その結果を実施(状況)報告書で明らかにするよう努めてください。	重要な植物の移植又は播種を実施する場合は、近隣の個体群と遺伝的交流が可能な地点に行うよう努めます。また、移植又は播種を行った重要な植物は、モニタリングを行い、その結果を実施(状況)報告書として報告します。
2	野生動植物	車両及び資材若しくは作業着・靴を適切に洗浄し外来種の持ち込み防止に努めてください。	本事業の工事にあたっては、車両及び資材若しくは作業着・靴を適切に洗浄し外来種の持ち込み防止に努めます。
3	野生動植物	工事後の速やかな在来種による植栽・緑化に努めてください。その際、表土を植生用客土として活用し、近隣の自生個体群の遺伝的攪乱が起きないように、遺伝的地域性に配慮して地域由来の個体を用いるよう努めてください。	工事後に裸地が発生する場合は必要に応じて在来種による植栽・緑化に努めます。その際、状況に応じて表土を植生用客土として活用し、植栽や緑化にあたっては遺伝的地域性に配慮し地域由来の個体を用いるよう努めます。

与田切川発電所再開発事業 位置図

(国土地理院 2万5000分の1地形図を使用)



拡大図

与田切発電所取水施設(既設)

上流地点発電所

上流地点発電所
取水施設

水圧管路
L=980m

与田切発電所

250m